

新冠町

福井 雄也

1. 概要

1.1 町名の由来と町の歴史

アイヌ語の ni-kap「ニ・カブ・ベツ」(=ニレの木の皮という意味) から転訛したものである。新冠には新冠川が存在し、その川沿いに生活していく上で必需品であるニレの木がたくさんあったことが関係していると思われる。

2003年1月より静内町、三石町と合併を協議し、当初は市に昇格予定であり、新市名称は「ひだか市」に決定していた。その後新冠町が合併の時期の延期を申し入れし、協議の結果、合併協議は休止される事になった。

表 1 新冠の歴史年表

1881年	新冠郡高江村外 10ヶ村戸長役場が設置
1923年	新冠郡高江村、大狩部村(おおかりべ)、葉朽村(はくち)、受乞村(うけこい)、元神部村(もとかんべ)、比宇村(ひう)、泊津村(はくつ)、去童村(さるわらんべ)、姉去村(あねさる)、万揃村(まんそろえ)、滑若村(なめわか)を合併
1954年	各村の構成区域を改編
1961年	町制施行、新冠町
1981年	新冠町開町 100年
2001年	開町 120年
2003年	台風 10号の被害を受ける

出典：Wikipedia

1.2 町章・町民憲章・象徴

開拓具・船の錨・馬の蹄・王冠・北のイメージを現代的に表現。力強く躍進する新冠町の未来を象徴している。開拓具は開拓者精神を、船の錨は海の幸を、馬の蹄は馬産地王国を、王冠は新冠の「かんむり」を表し、この四つを組み合わせることで北海道の「北」を形づくったものである。

図 1 新冠町章



出典:新冠町 HP

表 2 新冠町民憲章

1、いつも、丈夫なからだをつくりいきいきと働く町にしま
1、いつも、明るくあいさつをかわし、きまりを守る町にし
1、いつも、たがいにはげまし合い、助け合う町にします。
1、いつも、すすんで学び、文化の高い町にします。
1、いつも、まわりを美しくし、自然を大切にする町にしま

図2 町の花（ツツジ）



出典：新冠町 HP

図3 町の木（ヒガツラ）



出典：新冠町 HP

1.3 地理・気候

北海道南部、日高地方のほぼ中央部に位置している。東西 45km、南北 44km、海岸線 13km、海岸からの奥行きは 55km、面積は 585.88 平方キロで北東部は山岳地帯、南西部は太平洋に面している。面積の 77%を森林が占め、農地は 10%ほどである。気候は温暖で年間平均気候は 7.7 度。積雪も少なく根雪期間は 80 日ほどである。

図4 北海道から見た新冠町の位置



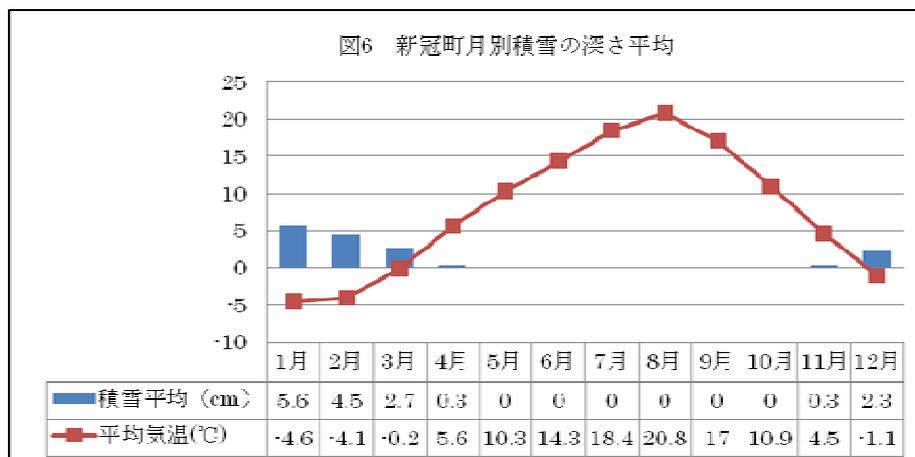
出典：新冠町 HP

図5 日高支庁の中での新冠町の位置



出典：日高支庁 HP

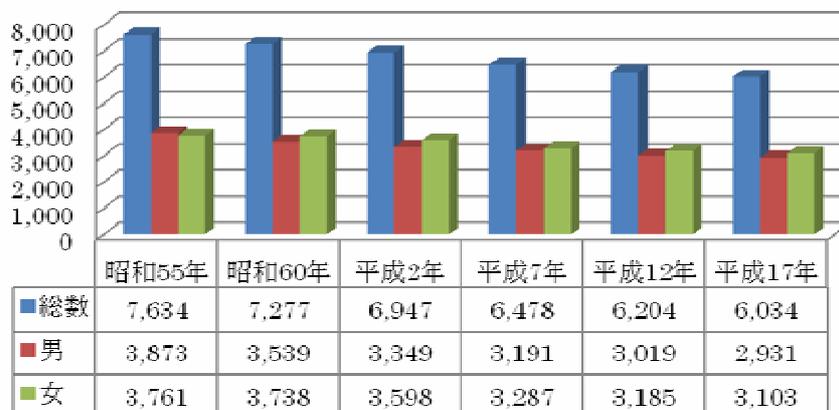
図6 新冠町月別積雪の深さ平均



出典：気象庁 HP

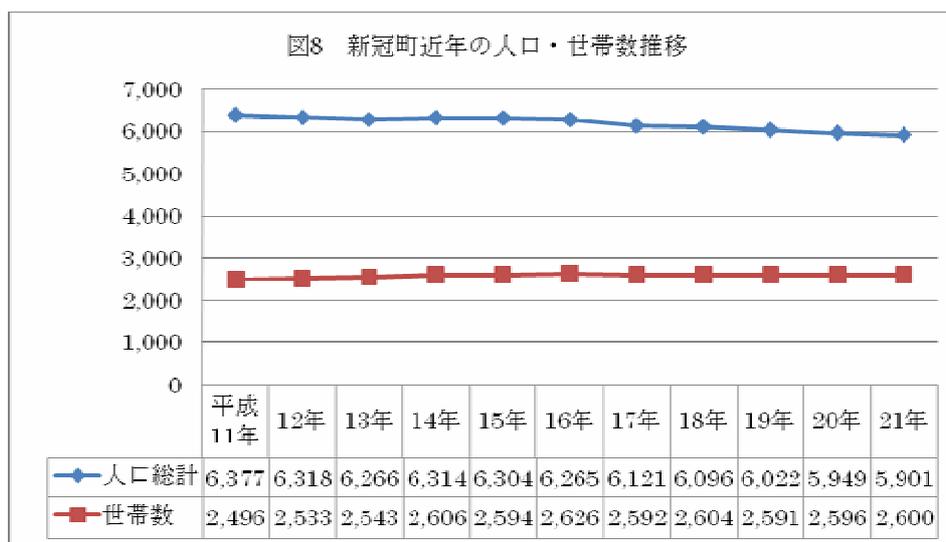
2. 人口・世帯数推移

図7 新冠町男女別人口数推移



出典：国勢調査

図8 新冠町近年の人口・世帯数推移



出典：新冠町 HP

新冠町の人口は徐々に減少していて、高齢化が進み始めている。男女比もほぼ一定で減少が続けているが、昭和55年の時点では現在とは逆にわずかに男性の人口数が上回っていたことを見ると、若干男性の減少率が女性の減少率を上回っているようである。

3. 産業

3.1 新冠町の産業

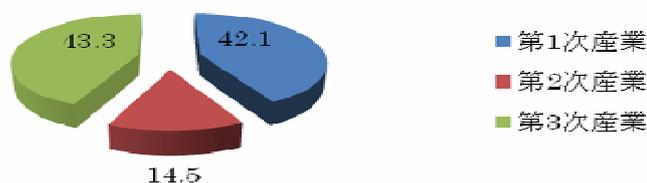
図9のように新冠町の産業は第1次産業と第3次産業が飛びぬけて高い割合を示している。さらにその中でも図10を見ていただければわかるよう農業における比率が際立っている。それは新冠町が稲作・畜産・畑作・酪農その中でも特に畜産が基幹産業として発達し

ているということが1番の要因であると思われる(図11,12参照)。とりわけ「競走馬の村」と言われているようにナリタブライアンやハイセイコーといった有名馬がここで生産されている。

【新冠町で育てられた有名馬一覧】

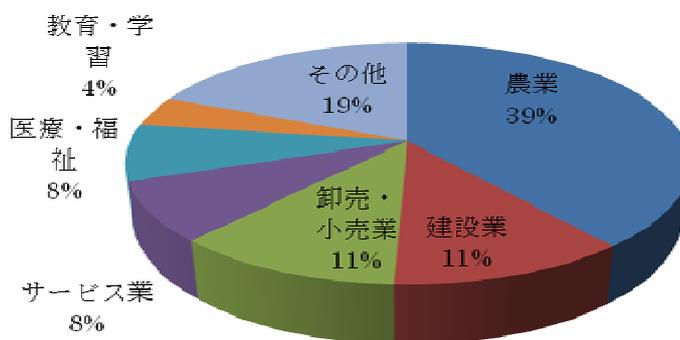
ナリタブライアン、ハイセイコー、マヤノトップガン、ヤマニンゼファー、オフサイドトラップ、シルクジャスティス、キングヘイロー、テイエムプリキユア、ロジック、ノーリーズン、ヘヴンリーロマンス、レギュラーメンバー、カネツフルーヴ、コスモバルク、サンデーブレイク

図9 新冠町の産業別人口割合



出典：国勢調査

図10 新冠町の主な産業大分類別割合



出典：国勢調査

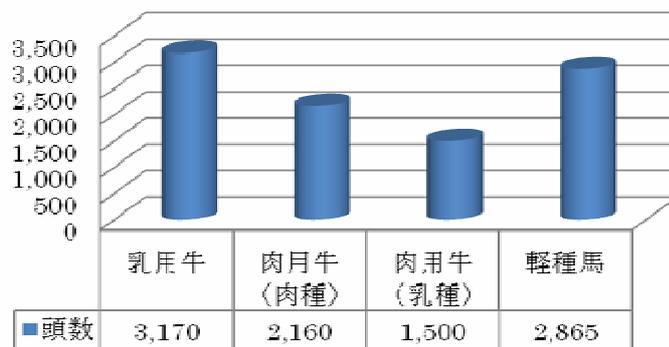
図11 新冠町の農業生産額

■単位は千万円



出典：農林水産省 HP

図12 新冠町の主な家畜飼養頭羽数



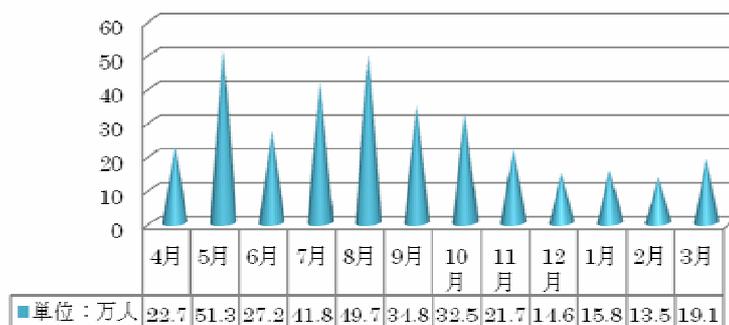
出典：日高支庁 HP

4. 観光

4.1 観光客数

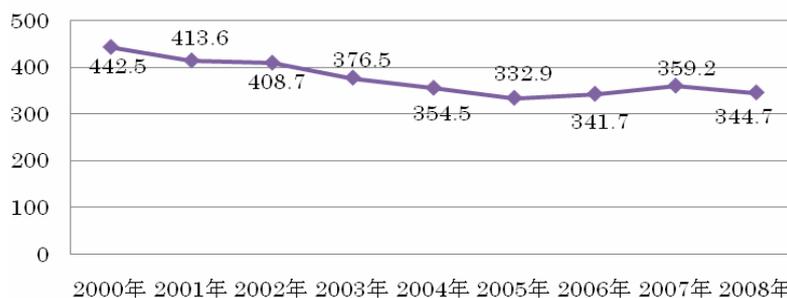
新冠町の観光入客数は2000年から2005年あたりまで減少の一途をたどった。2000年当時は約450万人だった観光客も2005年には350万人を割るほどになっている。その後2007年までは若干の増加を見せたものの、2008年にはまた350万人を割ってしまった。また月別に見ていくと、ゴールデンウィーク時期の5月と夏休みや新冠町でのイベント(5.祭り・催事を参照)が多い7,8月が飛びぬけて観光客が入っていることがわかる。

図13 平成20年度新冠町月別観光入客数



出典：北海道庁HP

図14 近年の新冠町年度別観光入客数推移(万人)



参考：北海道庁HP

4.2 観光名所

4.2-1 新冠レ・コード館

円盤レコードとロウ管レコードが並立していたものが1910年に円盤レコードに収束され、1980年代まで音(音楽)の記録媒体として繁栄した。しかし、CDやMDなどのデジタルメディアの登場によってレコードは、消滅しようとしている。新冠町は一番オリジナルに近い音でなおかつナチュラルに再生されるレコード特有のアナログサウンドは、21世紀に残していくべき

20世紀の音楽文化を記録した歴史遺産として位置づけていて、このように村全体でレコードを残していこうという動きが出ているのである。その中で1997年に建てられたのがこのミュージアムであり、現在は100万枚のレコード収集を目標としてレコード収集作業を行っている。コンサートホール、シアター、展望台など設備も多数あり、交流場所も設けられている。

4.2-2 にいかっぷホロシリ乗馬クラブ

にいかっぷホロシリ乗馬クラブは日本最大の馬の生産地である日高支庁で大自然と一緒に馬を楽しめるスポットである。馬を見て、触れて、乗ってその素晴らしさを感じることができます！なんと乗れる馬はほとんどが昔競馬場を疾走していた元競走馬なのだそうです！

4.3-3 新冠泥火山

新冠泥火山は地表に泥水などが噴出する泥火山であり、火山活動などによって作られたものではなく、1952年の十勝沖地震の際に地下からガスと共に泥水や土塊が噴出する事象が発生したことにより形成された8つの円錐状の丘陵である。大半が牧場内にあり、遠景することのみが可能である。北海道の天然記念物に指定されている。

図 15 新冠レ・コード館



出典：Wikipedia

図 16



出典：にいかっぷホロシリ乗馬クラブ HP

図 17 新冠泥火山



出典：Wikipedia

5. 祭事・催事

5.1 にいかっぶふるさと祭り

毎年 7 月に数千人が訪れる、新冠町の夏を告げる一大イベントである。氷川神社祭典に合わせて新冠駅前広場で開催される。みこし本練りや新冠判官太鼓などの郷土芸能を中心に、俵かつぎリレーや歌謡ショーなど多種多様なプログラムで盛り上がりを見せる。「にいかっぶ和牛」ステーキ肉の格安販売、商工会青年部主催のビアガーデンも開催される。

5.2 駒まつり

8 月の最終日曜日に日高軽種馬共同育成公社で行われる。「新冠ダービー」と名付けられた草競馬や乗馬、その他のアトラクションなどたくさんのイベントにお客さんが詰めかける。

▼参照 HP

北海道庁 HP <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

日高支庁 HP <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/>

新冠町 HP <http://www.niikappu.jp/>

農林水産省 HP <http://www.maff.go.jp/>

気象庁 HP <http://www.jma.go.jp/>

統計局 HP <http://www.stat.go.jp/>

にいかっぶホロシリ乗馬クラブ公式 HP <http://horoshiri.jp/>

ウィキペディア

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>